

乱用薬物は

買わない
使わない
かかわらない



© N.G.E.



ゼットイしない薬物乱用



NAGOYA
GRAMPUS

名古屋グランパスは薬物乱用防止啓発活動を応援します



薬物乱用って？

決められたルールを守らずに薬物を使用すること

ルール①

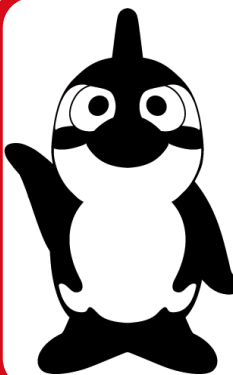
法律

大麻、覚醒剤のような違法薬物はたとえ1回だけの使用でも薬物乱用です。

ルール②

用法・用量

医薬品でも決められた使い方をしないと薬物乱用になります。



どんな影響があるんだろう？

幻想・妄想 脳への影響

薬物乱用は、脳の機能を障害し、正常な判断力や運動能力を衰えさせます。脳へのダメージは二度と元には戻りません。また、見えないものが見える幻視や、聞こえないことが聞こえる幻聴、ありもしないことを信じ込む妄想、といった症状が表れることがあります。

依存 耐性 フラッシュバック

薬物を乱用すると「やめたくてもやめられない」**依存状態**に陥ってしまいます。また、繰り返し使用していると、**耐性**により、無意識のうちに薬物の使用量が増えていきます。さらに、一度薬物をやめられても、ストレスなどで、突然薬物を使っていたころの感覚がよみがえってしまうことがあります。

乱用される主な薬物

大麻


通称：草、ハッパ、チョコ、、

大麻の葉や花穂を乾燥させたものや樹脂化したもの。幻覚作用や記憶障害、学習能力の低下等をもたらします。



※画像提供：厚生労働省

覚醒剤

通称：アイス、エス、スピード、

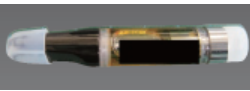
白色等の粉末、無色透明の結晶。精神刺激薬で、神経を異常な興奮状態にする作用を持っており、強い精神依存を引き起こします。



※画像提供：厚生労働省

危険ドラッグ

覚醒剤や大麻に似た成分が含まれていることもある大変危険な薬物。合法ハーブやアロマオイルやグミなどお菓子の形態で売られていることもあります。



※画像提供：厚生労働省

甘い誘い文句には要注意！



1回だけなら大丈夫、みんなやってるよ！

近年、SNSが薬物の密売に使われる場面が増えています。SNS上では大麻などを意味する隠語や絵文字などを使い、薬物の購入を促す内容が多く投稿されています。実際に未成年の学生がSNSを通して売人から大麻を購入した事件が複数報告されており、大きな問題となっています。SNSを通して薬物の売人と関わることは、多くの危険を伴います。もし、そのような投稿を見つけても誘いに乗らないようにしましょう。

オーバードーズ（過剰摂取）は非常に危険

医薬品を、決められた量を超えてたくさん飲んでしまうことを指して、「オーバードーズ」と言われています。

特に最近、市販のかぜ薬などを、感覚や気持ちに変化を起こすために大量に服用することを指して、「オーバードーズする」「ODする」などと言われています。

中学生を対象とした調査では、市販薬乱用の経験がある割合は約55人に1人という結果が出ています。オーバードーズにより健康被害を引き起こしたり、やめられなくなったりするおそれがあります。

違法ではないからといって、「安全」でも「安心」でもありません。オーバードーズは、あなたの体を傷つける、危険な行為です。



オーバードーズについて



悩んだときは、まず相談！



薬物乱用についての相談・お問い合わせ

愛知県保健医療局生活衛生部医薬安全課 (052) 954-6305【ダイヤルイン】

| | | | |
|---------|----------------|--------|----------------|
| 瀬戸保健所 | (0561) 82-2196 | 西尾保健所 | (0563) 56-5241 |
| 春日井保健所 | (0568) 31-2188 | 新城保健所 | (0536) 22-2203 |
| 江南保健所 | (0587) 56-2157 | 豊川保健所 | (0533) 86-3188 |
| 清須保健所 | (052) 401-2100 | 豊橋市保健所 | (0532) 39-9101 |
| 津島保健所 | (0567) 26-4137 | 岡崎市保健所 | (0564) 23-6187 |
| 半田保健所 | (0569) 21-3341 | 一宮市保健所 | (0586) 52-3855 |
| 知多保健所 | (0562) 32-6211 | 豊田市保健所 | (0565) 34-6723 |
| 衣浦東部保健所 | (0566) 21-4778 | | |

愛知県精神保健福祉センター (052) 962-5377

誘いを断る自信がない…。

毎日辛くて、このままだと薬物に手を出してしまいそう。



薬物への疑問や不安があるときは**ひとりで悩まず、早めに相談しましょう！**信頼できる大人や専門の窓口にご相談してください。